

日本国際看護学会 2021年度 東日本研修会報告

開催日：2021年 7月 4日（日） 13:00 ～ 16:30

会場：ZOOMによるWeb開催

テーマ：外国人患者へのケアに必要な看護師の異文化対応教育について考える

講師：野地有子先生（千葉大学大学院看護学研究院）

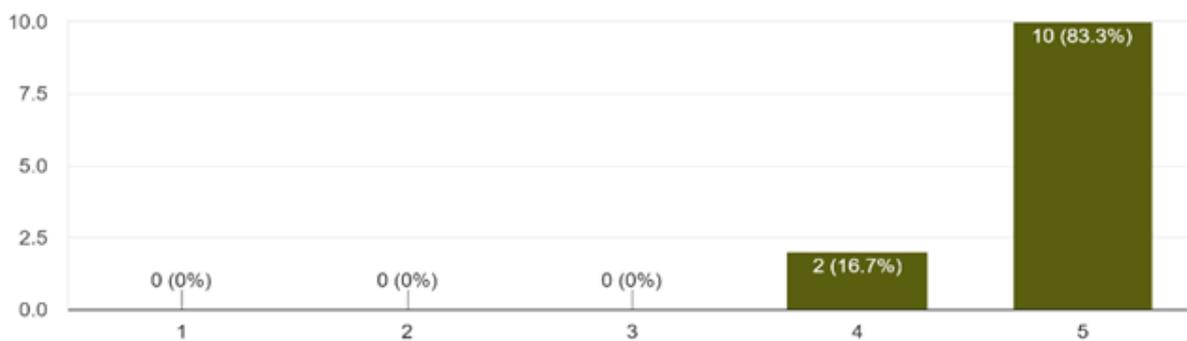
2021年 7月 4日（日）ZOOMによるWeb開催で「外国人患者へのケアに必要な看護師の異文化対応教育について考える」に関する研修会が開催されました。1部はシンポジウムで、2部ではシンポジウムを踏まえて、参加者の皆様に「外国人患者へのケアに必要な看護師の異文化対応教育について考える」について考えました。講演では、ドイツ多文化対応能力研修 IPIKA（InterProfessionelles und InterKulturelles Arbeiten）との交流を通して、外国につながる人々への看護ケアについて講演がありました。アンケート結果から、講演のテーマは、10人(84%)が適切と回答し、「これからの異文化対応能力の教育について参加者の皆様ともっと話し合えたら嬉しいです。」などの意見がありました。Ⅱ部のグループワークは、ZOOMによるブレイクアウトセッションを使用して実施した。グループワークの人数や総時間は9人（75%）が「どちらでもない」と回答しましたが、自由記述では「適切な長さであったと思います。ディスカッションがあっただけです。」との意見があり、よりよい情報を共有する機会となりました。

アンケート結果について

1. アンケート集計結果（12名から回答を得た）

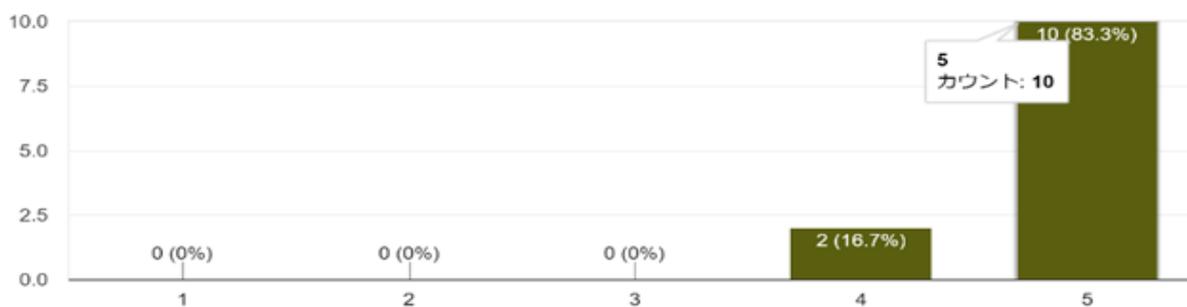
講演のテーマは適切でしたか

12件の回答



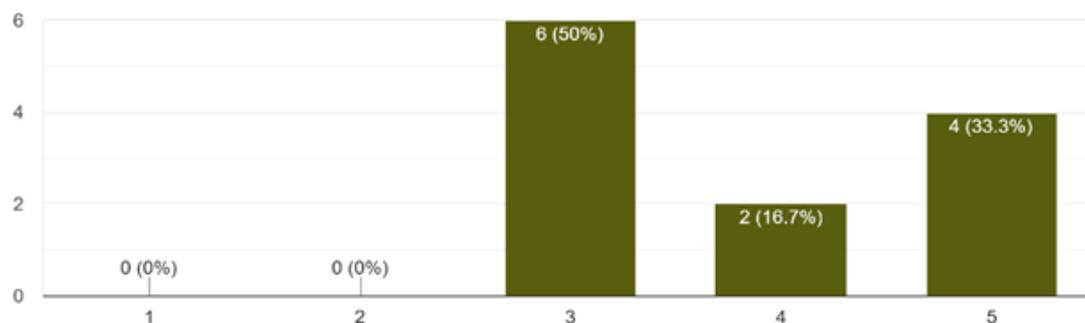
講演の内容は満足いただけましたか

12件の回答



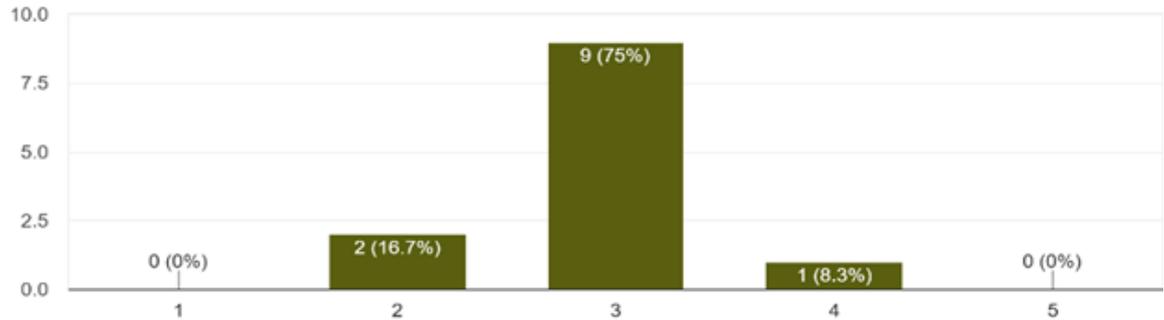
内容に対する総時間は適切でしたか？

12件の回答



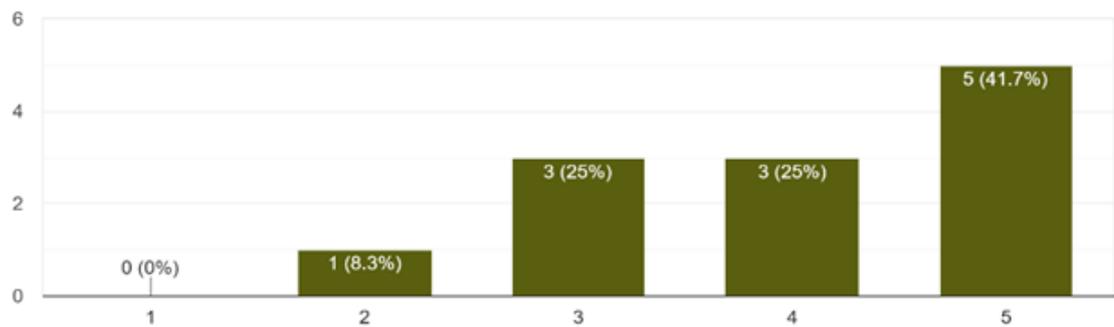
グループワークとしての総時間は適切でしたか？

12件の回答



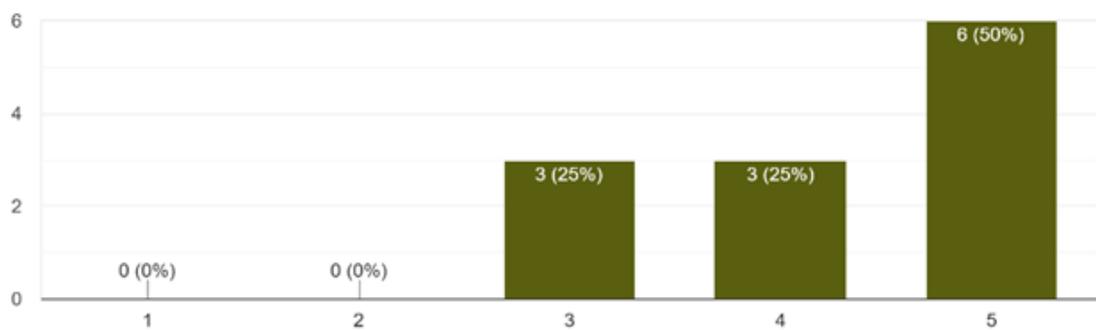
グループワークで満足なディスカッションができたと思いますか

12件の回答



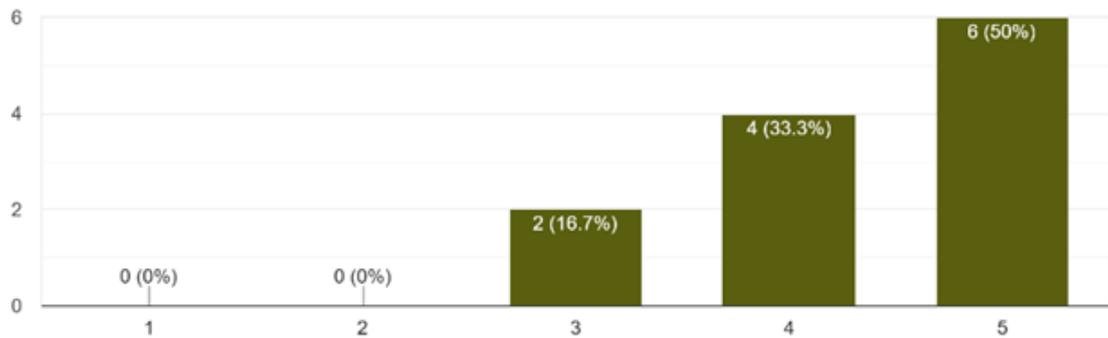
ウェビナー形式の研修会は、対面よりも参加しやすかった

12件の回答



今後もウェビナー形式での研修会を継続してほしい

12件の回答



今回の研修を実務でどのように活用できそうですか？

- 病棟のカンファレンスで発表させていただきます。
- 自分の態度を見直していきたいと思います
- 授業の中に取り入れる
- まずは学内でシェアしていきたいと思います。
- 基礎教育からの積み上げが大事だと思いました。教育プログラムの参考にしていきたいと思います。